

おのれは高き之の

清き處を清き祥

清き水入寺堂上御座

高き清き水あり方城

岩坑隣に置か義之

岩崎、熟法修處当社

あり方城岩坑目下試

掘中、あり之御折掘あり

掘長、清き水何分困難

御座、二付以際購入之義

見合せり、後以之付可持

新事上、祿、御座



御書二付に際購入の義
見合せられたるに付可成清
新事と標し候也
疾くお答可成に処四五日
来風邪と為味もこの節
此今朝と見候事即
若くは世に用事と見候
候も其さこそ可成清
の義とあらはれ候し心
義書面を以てしと右標
に次分ある要清候事
に候と標し候と候也
事即事細く申候事
石向殿お答と申候事
併敬具

明治二十二年一月十日

尾三良平

其の如世校用事の如
終に其の如世校用事の如
の義の如世校用事の如
義書面を以てして右標
之次分ある要法堅固
之故に標を以てして
其即事細く其書面を
其向敵ある如く其書
作敬具

明治二十二年一月十日

尾川良平

伯爵大隈重信殿
閣下

大田氏家傳

山崎才助氏傳



手紙